



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 三井倉庫株式会社 上場取引所 東 大
 コード番号 9302 URL <http://www.mitsui-soko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 圭 (TEL) 03-6400-8006
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部門財務部長 (氏名) 齊藤 博文 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	110,578	36.7	4,241	△16.3	3,425	△14.8	△621	—
24年3月期第3四半期	80,900	12.6	5,064	△0.4	4,020	5.8	3,206	23.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △383百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 2,598百万円 (62.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	△5	00	—	—
24年3月期第3四半期	25	82	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
25年3月期第3四半期	210,709	51,159	51,159	23.0	23.0	23.0
24年3月期	197,338	50,852	50,852	25.4	25.4	25.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 48,410百万円 24年3月期 50,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	4	50	—	—	4	50	9	00
25年3月期	—	—	4	50	—	—	—	—	—	—
25年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	4	50	9	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	148,000	37.9	5,200	△22.8	3,700	△29.5	2,900	34.8	23	35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）三井倉庫ロジスティクス株式会社 除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	124,415,013株	24年3月期	124,415,013株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	223,591株	24年3月期	222,698株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	124,191,511株	24年3月期3Q	124,192,919株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページをご参照ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	75,000	1.0	3,100	△33.5	2,200	△40.7	2,700	67.7	21	74

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 経営方針	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(6) セグメント情報等	14
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(8) 企業結合等に関する注記	16
(9) 重要な後発事象	18
5. 補足情報	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州や中国など海外経済の減速等を背景に輸出の対前年伸び率のマイナス基調が継続し、また、鉱工業生産指数も下落基調で推移するなど、依然、厳しい状況が続いております。

物流業界におきましても、1～3類倉庫の保管残高は徐々に回復しつつあるものの、一方で、入在庫高、貨物回転率は低位で推移するなど荷動きの回復には至っておりません。

こうした経済環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内物流事業は保管残高は回復したものの、輸出入貨物を中心に取扱量が減少し、利益率も悪化したことなどから売上げは横ばいでしたが減益となりました。港湾運送事業は船腹の増加による航路の増強などにより増収となったものの、利ざやの縮小などから減益となりました。グローバルネットワーク事業は、北東アジア、東南アジアを中心に業績が回復しつつあり全体では増収となったものの業容拡大に伴う賃借料の増加などから減益となり、国際輸送事業は昨年6月より持分法適用関連会社としていたTASエクスプレス株式会社を7月1日より旧株式会社三井倉庫エアカーゴと統合し連結子会社（現三井倉庫エクスプレス株式会社）としたことなどから増収増益となりました。ロジスティクスシステム事業は昨年4月より連結子会社となった三井倉庫ロジスティクス株式会社が寄与したことから増収増益となりました。BPO事業は新規顧客の獲得などもあり増収増益となりました。また、不動産事業においては、前期に資産効率改善の観点から賃貸物流施設を売却したことから減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前年同期比296億78百万円増の1,105億78百万円、連結営業利益は同8億22百万円減の42億41百万円、連結経常利益は同5億95百万円減の34億25百万円となりました。

また、当社は資産の効率的活用及び財務体質の改善を目的として保有資産の見直しを進めており、その一環として、賃貸用オフィスビルを売却用不動産に用途変更したことから当該不動産に対する減損損失を当第3四半期連結累計期間において計上したことなどにより6億21百万円の連結四半期純損失（前年同期は32億6百万円の連結四半期純利益）を計上しております。

当第3四半期連結累計期間の業績の推移並びに通期見通し及び前期実績との比較は以下のとおりです。

(当連結累計期間)

	当第3四半期 (3ヶ月累計)	当第3四半期 (9ヶ月累計)	当第4四半期予想 (3ヶ月累計)	通期予想 (平成25年3月期)
営業収益（百万円）	38,677	110,578	37,421	148,000
営業利益（百万円）	1,854	4,241	958	5,200
経常利益（百万円）	1,578	3,425	274	3,700
四半期（当期）純利益又は 四半期純損失（△）（百万円）	△1,549	△621	3,521	2,900

(前連結累計期間)

	前第3四半期 (3ヶ月累計)	前第3四半期 (9ヶ月累計)	前第4四半期 (3ヶ月累計)	前通期 (平成24年3月期)
営業収益（百万円）	27,023	80,900	26,444	107,344
営業利益（百万円）	1,738	5,064	1,667	6,731
経常利益（百万円）	1,487	4,020	1,231	5,251
四半期（当期）純利益又は 四半期純損失（△）（百万円）	619	3,206	△1,055	2,151

(前期比較)

	第3四半期 (3ヶ月累計)	第3四半期 (9ヶ月累計)	第4四半期 (3ヶ月累計)	通期
営業収益（百万円）	11,654	29,678	10,976	40,655
営業利益（百万円）	116	△822	△709	△1,531
経常利益（百万円）	91	△595	△956	△1,551
四半期（当期）純利益又は 四半期純損失（△）（百万円）	△2,168	△3,828	4,576	748

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、三井倉庫ロジスティクス株式会社の取得及びTASエクスプレス株式会社の株式を取得し株式会社三井倉庫エアカーゴとの統合などにより、全体としては前連結会計年度末比133億71百万円増加し、2,107億9百万円になりました。

純資産は、少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末比3億7百万円増加し、511億59百万円になりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の増加や前期の固定資産売却に伴う仮払消費税の増加などから、全体として前年同期に比べ15億77百万円の収入減の54億55百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは三井倉庫ロジスティクス株式会社、TASエクスプレス株式会社の株式取得や西神戸事務所建設等に係る支出があったことから313億57百万円の支出となり、前年同期に比べ317億19百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは社債の発行や長期借入による収入があった一方で借入金の返済があったことから88億76百万円の支出となり、前年同期に比べ55億59百万円の支出増となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、新規連結に伴う現金同等物23億94百万円の増加はあったものの全体では前連結会計年度末より323億71百万円減の195億63百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年 3月期	平成23年12月 第3四半期	平成24年 3月期	平成24年12月 第3四半期
自己資本比率 (%)	26.8	27.6	25.4	23.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.9	19.6	22.2	20.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	13.4	11.3	12.3	16.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	5.3	6.7	6.7	5.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第3四半期では4／3倍して算出しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の連結業績予想につきましては、当期より連結子会社となった三井倉庫ロジスティクス株式会社の業績が、家電製品取扱の伸び悩みが予想されること、また、国内物流においては輸出入貨物取扱が引き続き低位に推移すると見込まれ、港湾運送事業においても利ざやの縮小が継続することが予想されることなどから、通期の連結業績予想について下記のとおり見直しております。

[平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）連結業績予想]

(百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回予想	150,000	6,500	5,100	4,600	37円04銭
②今回予想	148,000	5,200	3,700	2,900	23円35銭
③増減額 ②-①	△2,000	△1,300	△1,400	△1,700	—
④増減率 ③/①	△1.3%	△20.0%	△27.5%	△37.0%	—
参考：前期実績	107,344	6,731	5,251	2,151	17円32銭

(参考)

[平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）個別業績予想]

(百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回予想	75,000	3,200	2,500	3,100	24円96銭
②今回予想	75,000	3,100	2,200	2,700	21円74銭
③増減額 ②-①	—	△100	△300	△400	—
④増減率 ③/①	—%	△3.1%	△12.0%	△12.9%	—
参考：前期実績	74,291	4,662	3,711	1,610	12円97銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

三井倉庫ロジスティクス株式会社の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から同社とその子会社等3社を連結の範囲に含めております。なお、これら子会社等のうち2社については、第2四半期連結会計期間において、その他の連結子会社との合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 経営方針

対処すべき課題

当社は、2012年11月に新たな中期経営計画「MOVE 2013」を策定し、物流事業の事業領域の拡大と競争力の強化を目指します。

「MOVE 2013」の事業方針は以下のとおりです。

- ①アジアパシフィックにおける成長領域への集中投資
- ②プラットフォーム型サービスの開発と展開
- ③資産ポートフォリオの最適化

<数値目標（2016年3月期）>

売上高	1,800億円
営業利益	110億円
有利子負債残高	1,000億円
ROE	8%超
DEレシオ	1.5

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,263	20,136
受取手形及び営業未収金	15,173	23,524
その他	4,343	6,933
貸倒引当金	△47	△89
流動資産合計	71,733	50,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,560	58,002
土地	43,062	43,340
その他（純額）	6,368	7,451
有形固定資産合計	99,992	108,795
無形固定資産		
のれん	2,636	24,888
その他	5,434	6,637
無形固定資産合計	8,071	31,525
投資その他の資産		
投資有価証券	10,923	12,175
その他	6,661	7,899
貸倒引当金	△44	△191
投資その他の資産合計	17,540	19,883
固定資産合計	125,604	160,204
資産合計	197,338	210,709
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,532	14,331
短期借入金	12,998	8,339
1年内返済予定の長期借入金	16,129	18,433
1年内償還予定の社債	—	6,000
未払法人税等	904	633
賞与引当金	1,586	1,045
その他	8,437	13,152
流動負債合計	47,589	61,937
固定負債		
社債	36,000	40,000
長期借入金	54,228	47,106
退職給付引当金	2,288	4,533
その他	6,379	5,972
固定負債合計	98,896	97,612
負債合計	146,485	159,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563
利益剰余金	34,002	32,173
自己株式	△99	△99
株主資本合計	50,567	48,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,101	2,278
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△2,532	△2,608
その他の包括利益累計額合計	△431	△327
少数株主持分	716	2,749
純資産合計	50,852	51,159
負債純資産合計	197,338	210,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	9,650	12,479
倉庫荷役料	6,081	8,434
港湾作業料	15,743	16,096
運送収入	29,751	41,973
不動産収入	8,960	8,496
その他	10,712	23,099
営業収益合計	80,900	110,578
営業原価		
作業直接費	36,084	54,558
賃借料	5,087	8,825
減価償却費	4,579	4,108
給料及び手当	11,081	13,675
その他	12,757	15,024
営業原価合計	69,589	96,192
営業総利益	11,310	14,386
販売費及び一般管理費		
減価償却費	561	942
報酬及び給料手当	2,375	3,464
その他	3,309	5,738
販売費及び一般管理費合計	6,246	10,145
営業利益	5,064	4,241
営業外収益		
受取利息	21	78
受取配当金	216	216
持分法による投資利益	20	90
受取補償金	72	200
その他	183	680
営業外収益合計	515	1,266
営業外費用		
支払利息	1,117	1,118
その他	441	963
営業外費用合計	1,558	2,081
経常利益	4,020	3,425

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別利益		
持分変動利益	—	530
投資有価証券売却益	—	41
固定資産売却益	2,440	—
その他	5	—
特別利益合計	2,445	572
特別損失		
減損損失	—	3,772
投資有価証券評価損	303	58
本社移転費用	404	—
その他	54	346
特別損失合計	762	4,176
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,704	△179
法人税等	2,460	342
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,243	△521
少数株主利益	36	99
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,206	△621

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,243	△521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	160
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△350	△55
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	31
その他の包括利益合計	△644	138
四半期包括利益	2,598	△383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,603	△518
少数株主に係る四半期包括利益	△4	135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,704	△179
減価償却費	5,140	5,050
減損損失	—	3,772
のれん償却額	221	1,205
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△606	△810
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41	△71
受取利息及び受取配当金	△238	△294
支払利息	1,117	1,118
持分法による投資損益(△は益)	△20	△90
持分変動損益(△は益)	—	△530
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,467	△11
投資有価証券売却損益(△は益)	11	146
投資有価証券評価損益(△は益)	303	58
有形固定資産除却損	99	56
売上債権の増減額(△は増加)	△99	224
仕入債務の増減額(△は減少)	△233	△1,153
その他	472	△384
小計	9,325	8,095
利息及び配当金の受取額	245	308
利息の支払額	△1,052	△1,092
法人税等の支払額	△1,485	△1,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,032	5,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,107	△5,736
有形固定資産の売却による収入	3,328	38
無形固定資産の取得による支出	△719	△1,107
投資有価証券の取得による支出	△4	△109
関係会社株式の取得による支出	—	△566
貸付けによる支出	△145	△127
貸付金の回収による収入	95	273
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△24,816
その他	△85	795
投資活動によるキャッシュ・フロー	362	△31,357

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,245	22,546
短期借入金の返済による支出	△2,211	△34,315
長期借入れによる収入	7,000	6,000
長期借入金の返済による支出	△10,171	△11,551
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,117	△1,117
その他	△62	△438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,317	△8,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,916	△34,766
現金及び現金同等物の期首残高	17,361	51,934
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,277	19,563

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

①減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
東京都豊島区	賃貸用オフィスビル	土地、建物及び構築物等

②減損損失の認識に至った経緯

当社グループは資産の効率的活用及び財務体質の改善を目的として保有資産の見直しを進めており、その一環として、賃貸用オフィスビルを売却用不動産に用途変更したことから当該不動産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しております。

③減損損失の内訳

土地 3,733百万円

建物及び構築物等 38百万円

計 3,772百万円

④グルーピングの方法

当社グループは、減損損失の算定にあたって、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っております。

⑤回収可能価額の算定方法

当該資産の時価から処分費用見込み額を控除した正味売却価額によっております。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	国内物流 事業	港湾運送 事業	グローバルネット ワーク事業	国際輸送 事業	ロジスティクス システム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	34,172	10,712	9,210	12,847	1,088
(2) セグメント間の 内部収益又は 振替高	90	—	—	216	—
計	34,262	10,712	9,210	13,063	1,088
セグメント営業利益 (又は営業損失)	2,604	743	(53)	397	(87)

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	BPO 事業	不動産 事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への 営業収益	3,712	8,960	196	80,900	—	80,900
(2) セグメント間の 内部収益又は 振替高	21	151	116	596	(596)	—
計	3,734	9,111	312	81,496	(596)	80,900
セグメント営業利益 (又は営業損失)	(90)	5,457	(702)	8,269	(3,205)	5,064

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、子会社の金融事業、施設管理事業、情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,205百万円は、のれんの償却額△221百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△2,983百万円であります。

3. セグメント営業利益（又は営業損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	国内物流事業	港湾運送事業	グローバルネットワーク事業	国際輸送事業	ロジスティクスシステム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	33,898	11,204	9,505	18,075	25,021
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	348	—	29	272	326
計	34,247	11,204	9,534	18,348	25,348
セグメント営業利益(又は営業損失)	2,462	434	(128)	1,179	622

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	BPO事業	不動産事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	4,232	8,423	215	110,578	—	110,578
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	48	142	143	1,311	(1,311)	—
計	4,281	8,566	358	111,890	(1,311)	110,578
セグメント営業利益(又は営業損失)	186	5,378	(1,256)	8,877	(4,636)	4,241

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、情報システム事業、子会社の金融事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,636百万円は、のれんの償却額△1,205百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△3,431百万円であります。

3. セグメント営業利益(又は営業損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他物流事業」のうち、「ロジスティクスシステム事業」に含まれていた「複合一貫輸送業務」を「航空事業」と合わせ、航空貨物輸送と海上貨物輸送を一体として管理する「国際輸送事業」として再編しております。また、「その他物流事業」に含まれていた「ロジスティクスシステム事業」、「BPO事業」について量的な重要性が増したことからそれぞれ報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分、並びに事業を構成する業務範囲に基づき組替えたものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、三井倉庫ロジスティクス株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「ロジスティクスシステム事業」において18,969百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」において、賃貸用オフィスビルを売却用不動産に用途変更したことから、当該不動産に係る減損損失3,772百万円を計上しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 企業結合等に関する注記

取得による企業結合

I 三井倉庫ロジスティクス株式会社の連結子会社化

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三洋電機ロジスティクス株式会社

事業の内容 貨物利用運送業、貨物自動車運送事業、貨物運送取次業、倉庫業等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は更なる成長を目指して、中期経営計画「新成長戦略@2010」を策定し、これにもとづく施策を進めております。具体的には、サードパーティーロジスティクス(3PL)事業をはじめとする、今後の成長の源泉となる事業の育成を進めております。また、既存の国内物流事業についても、従来手法からの抜本的な転換によるサービスの深化、顧客層の拡大を図っております。

同社は、家電分野を中心として3PL事業で確固たる地位を築いており、顧客のニーズに対応したITシステムや全国に展開する物流網を合わせて、当社が志向する物流プラットフォーム構築に大きく貢献すると考えております。また、家電という取扱商品の特性上、エンドユーザーに接する領域までの物流を担っており、消費者物流領域の強化という点からも、顧客層の拡大を通じた当社の成長を導くものと考えております。

(3) 企業結合日

平成24年4月2日

(4) 企業結合の法的形式

全株式の取得

(5) 結合後企業の名称

三井倉庫ロジスティクス株式会社

(6) 取得した議決権比率

企業結合の直前に所有していた議決権比率 0%

企業結合日に追加取得した議決権比率 100%

取得後の議決権比率 100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による、現金を対価とする株式取得であること。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年4月1日をみなし取得日としたため、平成24年4月1日から平成24年12月31日までを業績期間としております。

3. 被取得企業の取得原価

被取得企業の取得原価は23,807百万円であり、現金による取得です。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

12,034百万円

(2) 発生原因

主として三井倉庫ロジスティクス株式会社がロジスティクスシステム事業を展開することによって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

18年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	11,175百万円
固定資産	19,081百万円
(うち、のれん)	6,722百万円)
資産合計	30,257百万円
流動負債	15,730百万円
固定負債	2,753百万円
負債合計	18,484百万円

II 株式会社三井倉庫エアカーゴを存続会社とするTASエクスプレス株式会社の吸収合併

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 TASエクスプレス株式会社
事業の内容 国際輸送事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は更なる成長を目指して、国際輸送事業（エアフォワーディング、NVOCC）をはじめとする、今後の成長の源泉となる事業の育成を進めております。

このような状況の中、当社はトヨタ自動車株式会社と、トヨタ自動車子会社であり、国際輸送事業を営むTASエクスプレス株式会社と株式会社三井倉庫エアカーゴ（以下、「MSA」といいます）との経営統合について協議を行い、TASエクスプレス株式会社とその関連会社（以下、「TASグループ」といいます）の事業計画やTASグループを当社グループに迎え入れた場合のシナジー効果などについて、慎重に分析、検討を進めてまいりました。

この結果、当社は、TASエクスプレス株式会社の株式の一部を取得の上、平成24年7月1日付で、当社100%子会社のMSAと経営統合し、自動車部品輸送に強みを持つTASグループを当社グループに迎え入れることが、TASグループの業績向上はもとより、当社グループとTASグループのエアフォワーディング事業の統合等によるシナジー効果の実現を通じて、当社グループの国際輸送事業のさらなる拡充・強化に大きく寄与するものと判断しました。

(3) 企業結合日

平成24年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

MSAを存続会社とし、TASエクスプレス株式会社を消滅会社とした吸収合併

(5) 結合後企業の名称

三井倉庫エクスプレス株式会社

(6) 取得した議決権比率

企業結合の直前に所有していた議決権比率	45.5%
企業結合日に追加取得した議決権比率	18.65%
取得後の議決権比率	64.15%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

結合後企業の支配株主である当社により企業結合前から支配されていたMSAが取得企業となりました。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年7月1日から平成24年12月31日までを業績期間としております。

3. 被取得企業の取得原価

企業結合日以前から保有していたTASエクスプレス株式会社の株式の時価	5,232百万円
企業結合日における時価	
企業結合日において取得したTASエクスプレス株式会社の株式の時価	2,144百万円
取得に直接要した支出額	72百万円
取得原価	7,449百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

4,993百万円

(2) 発生原因

主として三井倉庫エクスプレス株式会社が国際輸送事業を展開することによって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

5. 合併比率、算定方法、交付株式数

(1) 合併比率

会社名	M S A (存続会社)	T A S エクスプレス株式会社 (消滅会社)
合併比率	60	115

(2) 算定方法

株式会社三井倉庫エアカーゴ及びT A S エクスプレス株式会社は、本合併に用いられる合併比率の算定にあたって公正性を期すため、それぞれ合併比率算定のための第三者評価機関を任命し、その算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況等の要因を総合的に勘案し、両社で合併比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記合併比率が妥当であるとの判断に至り合意いたしました。

(3) 交付株式数

普通株式 209株

6. 取得企業の合併に伴う持分変動利益530百万円

(9) 重要な後発事象

I 三宮駐車場の譲渡

当社は資産の効率的活用及び財務体質の改善を図るため、平成25年1月22日付けで下記固定資産の売買契約を締結いたしました。

1. 譲渡する相手先

株式会社長谷工コーポレーション

2. 譲渡物件

三宮駐車場土地

面積 5,500.55 m²

所在地 兵庫県神戸市中央区浜辺通六丁目1番36号

3. 譲渡の時期

契約締結日 平成25年1月22日

物件引渡日 平成25年4月8日(予定)

4. 譲渡価額等

帳簿価額 33百万円

譲渡価額 2,750百万円

5. 損益に与える影響

上記の固定資産譲渡に伴い、平成26年3月期(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)において、固定資産売却益約2,500百万円を特別利益として計上する見込みです。

なお、平成25年3月期の損益への影響はありません。

II 御成門ビルの取得

当社は、資産の効率的活用及び財務体質の改善を目的として保有資産の見直しを進めておりますが、その一環として、平成25年1月28日開催の取締役会において、賃借しております本社は屋（御成門ビル）の取得を決定し、平成25年1月29日付けで下記固定資産の売買契約を締結いたしました。

平成23年10月竣工のビル（1～12階が事務所、14～20階が賃貸住宅）であり、来期以降の営業利益の積上げ、キャッシュフローの改善を図ることに加え、複数の固定資産（駐車場）の売却に伴う買替資産に当てるものであります。

1. 取得先

土地 NS3 有限会社

建物 三井不動産株式会社

2. 取得物件

御成門ビル

1～12階 御成門M-SQUARE（事務所部分名称）

14～20階 Park Axis御成門（住宅部分名称）

面積 土地 1,341.41㎡

建物 16,113.23㎡

所在地 東京都港区西新橋三丁目20番1号

3. 取得の時期

契約締結日平成25年1月29日

物件引渡日平成25年2月28日（予定）

4. 取得価額 14,100百万円

5. 損益に与える影響

当該固定資産の取得による当社の平成25年3月期の損益に与える影響は軽微です。

III 社債の発行

当社は平成25年1月28日開催の取締役会において、社債償還資金並びに設備投資資金に充当するため、総額10,000百万円の範囲内で無担保普通社債を発行する旨、決議いたしました。

5. 補足情報

平成25年3月期 第3四半期決算参考資料

1. 経営成績の概要（連結）

（単位：百万円）

	第3四半期（4月1日～12月31日）				通期（4月1日～3月31日）			
	24年3月期	25年3月期	増減		24年3月期 実績	25年3月期 予想	増減	
			金額	率（%）			金額	率（%）
営業収益	80,900	110,578	29,678	36.7	107,344	148,000	40,655	37.9
営業利益	5,064	4,241	△822	△16.3	6,731	5,200	△1,531	△22.8
経常利益	4,020	3,425	△595	△14.8	5,251	3,700	△1,551	△29.5
四半期（当期）純利益	3,206	△621	△3,828	—	2,151	2,900	748	34.8

2. 財政状態（連結）

（単位：百万円）

	24年3月末	24年12月末	増減	
			金額	率（%）
自己資本	50,136	48,410	△1,725	△3.4
総資産	197,338	210,709	13,371	6.8
自己資本比率	25.4%	23.0%	△2.4ポイント	△9.6
D/Eレシオ	2.38	2.48	+0.10	4.0

3. 減価償却の状況（連結）

（単位：百万円）

	前年同期	当第3四半期	増減	24年3月期
減価償却費	5,140	5,050	△89	6,883

4. 有利子負債残高（連結）

（単位：百万円）

	24年3月末	24年12月末	増減
社債	36,000	46,000	10,000
借入金	83,356	73,879	△9,477
合計	119,356	119,879	522
現金及び預金	52,263	20,136	△32,127

5. セグメント情報（連結）

〈営業収益〉

（単位：百万円）

	前年同期 実績	当第3四半期 累計期間実績	25年3月期 予想	24年3月期 実績
国内物流事業	34,262	34,247	45,500	45,755
港湾運送事業	10,712	11,204	15,000	14,218
グローバル ネットワーク事業	9,210	9,534	13,500	11,923
国際輸送事業	13,063	18,348	25,000	17,110
ロジスティクス システム事業	1,088	25,348	33,000	1,489
BPO事業	3,734	4,281	6,000	5,147
不動産事業	9,111	8,566	11,500	12,077
その他	312	358	500	408
合計	81,496	111,890	150,000	108,131
調整額	△596	△1,311	△2,000	△786
四半期連結損益計算書 計上額	80,900	110,578	148,000	107,344

〈営業利益〉

（単位：百万円）

	前年同期 実績	当第3四半期 累計期間実績	25年3月期 予想	24年3月期 実績
国内物流事業	2,604	2,462	3,300	3,481
港湾運送事業	743	434	500	979
グローバル ネットワーク事業	△53	△128	0	△149
国際輸送事業	397	1,179	1,600	495
ロジスティクス システム事業	△87	622	700	△108
BPO事業	△90	186	200	△51
不動産事業	5,457	5,378	7,000	7,273
その他	△702	△1,256	△1,600	△979
合計	8,269	8,877	11,700	10,941
調整額	△3,205	△4,636	△6,500	△4,209
四半期連結損益計算書 計上額	5,064	4,241	5,200	6,731